

# グッドステージレポート

Good  
Stage  
投資型年金  
グッドステージ  
新変額個人年金保険

2026年2月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



東京海上日動あんしん生命

## ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

### ■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

#### ご注意

リバランス（定期的に積立金の配分を自動調整する機能）の指定割合を変更いただくには、「リバランスの設定・解除」のお手続きも必要です。

### ■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	日本株式 (A)	会社受付日
	日本株式 (B)	
	日本株式 (D)	
	世界株式 (A)	
債券型	世界債券 (A)	会社受付日の翌営業日
総合型	世界バランス (A)	
金融市場型	マネー (A)	会社受付日

### ■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

#### ●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。

お手続きが可能な時間：9：00～21：00

会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 15：29までに受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：30以降に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

(注) 土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

(※) ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

#### ●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

# 目次

種類	特別勘定の名称	掲載ページ
株式型	<b>日本株式(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2 <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.353%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約149.3億円	3p
株式型	<b>日本株式(B)</b> ■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・バリュー株・オープンVA(底力VA) <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.309%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約18.3億円	4p
株式型	<b>日本株式(D)</b> ■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・ジャパン・オープンVA(D.J.オープンVA) <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.309%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約3.2億円	5p
株式型	<b>世界株式(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：大和住銀／T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA <input type="checkbox"/> 運用会社：三井住友DSアセットマネジメント <input type="checkbox"/> 投資顧問：ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：1.485%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約59.1億円	6p
債券型	<b>世界債券(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし) <input type="checkbox"/> 運用会社：ブラックロック・ジャパン <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：0.528%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約15.3億円	7p
総合型	<b>世界バランス(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・バランス・ファンドVA2 <input type="checkbox"/> 運用会社：フィデリティ投信 <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：最大年率1.35%(税込)程度 <input type="checkbox"/> 円建/残高約5.0億円	8p
金融市場型	<b>マネー(A)</b> ■ 投資対象となる投資信託：マネー・オープン他 <input type="checkbox"/> 運用会社：大和アセットマネジメント <input type="checkbox"/> 資産運用関係費用(年率) <sup>*1</sup> ：各月ごと <sup>*2</sup> に決定	9p

※残高は2025年11月末現在

\*1 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。  
また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。  
\*2 各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.55(税込)を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年0.99%(税込)を超える場合には、年0.99%(税込)の率とします。

# 日本株式 (A)

(2026年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日  
【資産分類】日本株式  
【運用方針】  
日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。  
【投資対象となる投資信託】  
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	322	2.6%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2	12,096	97.4%
その他	—	—
資産合計	12,418	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	12,418	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2023年 1月31日	212.47	—
2025年 1月31日	265.63	-0.93%
2月28日	252.70	-4.87%
3月31日	253.18	0.19%
4月30日	254.84	0.66%
5月31日	268.21	5.25%
6月30日	272.36	1.54%
7月31日	281.87	3.49%
8月31日	290.96	3.23%
9月30日	296.73	1.98%
10月31日	316.41	6.63%
11月30日	319.22	0.89%
12月31日	322.63	1.07%
2026年 1月31日	334.85	3.79%
3ヶ月変化率		5.83%
6ヶ月変化率		18.80%
1年変化率		26.06%
3年変化率		57.60%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信  
【運用対象】日本株式  
【ベンチマーク】TOPIX (配当金込)

### 運用状況

#### ■市場別構成比 (2025.12末現在)

市場	構成比
東証プライム	97.5%
東証スタンダード	0.8%
東証グロース	0.3%
その他市場	—
現金・その他	1.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2025.12末現在)

業種	構成比
1 電気機器	22.1%
2 銀行業	12.2%
3 建設業	8.0%
4 輸送用機器	7.6%
5 卸売業	6.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2025.12末現在)

銘柄名	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャルグループ	銀行業	5.1%
2 日立製作所	電気機器	4.9%
3 ソニーグループ	電気機器	4.0%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	3.8%
5 伊藤忠商事	卸売業	3.3%
6 大成建設	建設業	2.3%
7 横浜フィナンシャルグループ	銀行業	2.2%
8 きんでん	建設業	2.2%
9 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	2.1%
10 リクルートホールディングス	サービス業	2.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 179)

### 【運用会社による投資信託へのコメント】(2026.1末現在)

当月の東京株式市場は、衆議院の解散観測などを背景に月半ばまで上昇しましたが、その後は財政悪化懸念や為替動向への警戒感から上値の重い推移となりました。人工知能(AI)関連の需要拡大期待を背景に米半導体株が上昇する中、株価は堅調に推移して始まりました。中国がレアアースの輸出規制強化を検討しているとの報道を受け、日中関係の悪化懸念が重しとなる場面もありましたが、高市首相の衆議院解散観測が強まると、政策推進への期待から海外投資家の買いが優勢となり、TOPIX、日経平均株価は共に月半ばに史上最高値を更新しました。しかしその後は、デンマーク領グリーンランドを巡る米欧対立への懸念に加え、衆議院選挙戦で与野党から食品消費税の減税方針が打ち出されたことを背景に、財政悪化が懸念されて国内長期金利が上昇したことなどが重しとなり、株価は軟調な推移に転じました。米欧間の対立懸念が後退すると一時的に持ち直しましたが、日米当局による為替介入への警戒感から円相場が対ドルで急伸したことや、衆議院選挙の先行き不透明感から上値の重い1月を終えました。月間の騰落率は、TOPIX(配当込)が+4.62%、日経平均株価は+5.93%でした。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現金金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式 (B) (2026年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の上場株式および店頭登録株式の中から、取得時にPERおよびPBR等の指標または株価水準からみて割安と判断され、今後株価の上昇が期待される銘柄に投資します。

【投資対象となる投資信託】

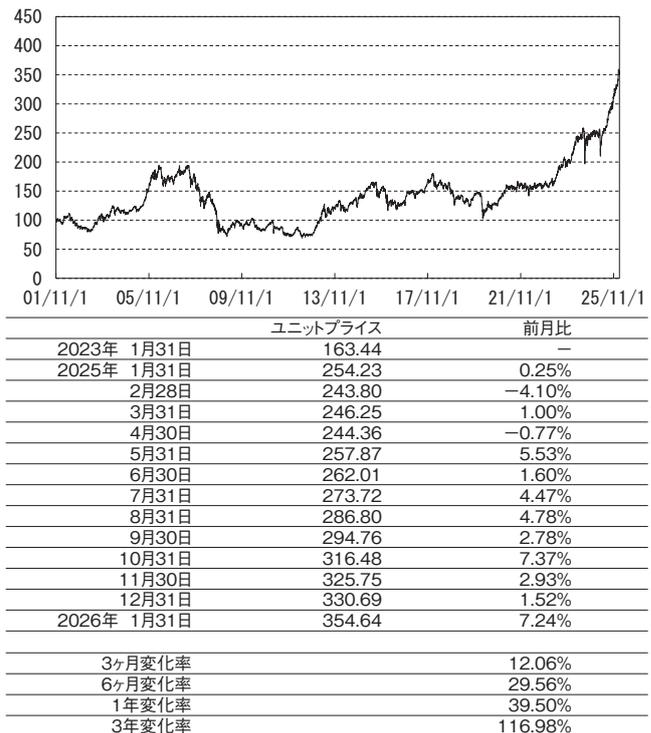
ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA)

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	9	0.4%
有価証券等		
ダイワ・バリュー株・オープンVA(底力VA)	2,010	99.6%
その他	—	—
資産合計	2,019	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	2,019	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### ダイワ・バリュー株・オープンVA (底力VA) の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX

### 運用状況

#### ■資産構成比率 (2026.1末現在)

資産	構成比
国内株式	97.9%
国内株式先物	—
国内合計	97.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2026.1末現在)

業種	構成比
1 銀行業	14.2%
2 電気機器	12.9%
3 輸送用機器	9.0%
4 機械	7.6%
5 卸売業	6.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2026.1末現在)

銘柄名	構成比
1 三井住友フィナンシャルG	4.9%
2 三菱UFJフィナンシャルG	4.6%
3 トヨタ自動車	4.2%
4 住友電工	4.2%
5 小松製作所	3.6%
6 日本電気	3.3%
7 キョクシアホールディングス	2.9%
8 丸紅	2.6%
9 東京海上HD	2.4%
10 三井物産	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合 (銘柄数 116)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2026.1末現在)

<株式市況> 国内株式市場は上昇しました。米半導体株指数の大幅上昇が好感し、堅調に始まりました。その後、日中関係の悪化が懸念される局面もありましたが、衆議院解散の観測報道を受けて、月半ばにかけて株価は大幅に上昇しました。高市首相が衆議院解散を表明すると、与野党が消費減税を公約に掲げる方針と報じられたことを受けて長期金利が急騰したほか、円高の進行も相まって、株価は上昇幅を縮小しました。

<運用経過> ポートフォリオの構築に際しては、日米の政策動向を勘案しつつ、今後の業績回復や好調な業績の継続性などに注目して銘柄を入れ替えました。また、自己株式の取得や配当金の増額などの株主還元を通じて、資本効率の改善が期待される銘柄に注目しました。具体的には、米国の関税影響の不透明感が後退し、次期以降の業績回復が期待される自動車関連株や、市況低迷による業績悪化が一巡し、成長事業に位置づけられる電子材料事業の拡大による業績回復に注目した化学品関連株などのウエートを引き上げました。一方で、設備投資の増加の可能性が浮上し、当初注目した株主還元への期待が後退した電力関連株や、資本効率改善の余地が縮小傾向にあることを懸念した保険関連株などのウエートを引き下げました。このような売買や株価変動により、業種構成では電気機器、化学、金属製品などの比率が上昇し、電気・ガス業、保険業、情報・通信業などの比率が低下しました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果、リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 日本株式 (D) (2026年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】日本株式

【運用方針】

日本の証券取引所上場株式を主要投資対象とします。ボトムアップアプローチを基本とし、各種投資指標から判断して割高と判断される銘柄を除外して投資します。

【投資対象となる投資信託】

ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	11	3.4%
有価証券等		
ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)	324	96.6%
その他	—	—
資産合計	335	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	335	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2023年 1月31日	161.04	—
2025年 1月31日	236.44	1.85%
2月28日	222.21	-6.02%
3月31日	218.38	-1.72%
4月30日	227.39	4.13%
5月31日	240.89	5.94%
6月30日	250.01	3.79%
7月31日	251.88	0.75%
8月31日	258.24	2.52%
9月30日	262.26	1.56%
10月31日	288.70	10.08%
11月30日	287.21	-0.52%
12月31日	282.02	-1.81%
2026年 1月31日	292.96	3.88%
3ヶ月変化率		1.47%
6ヶ月変化率		16.31%
1年変化率		23.90%
3年変化率		81.92%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA) の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント

【運用対象】日本株式

【ベンチマーク】TOPIX

### 運用状況

#### ■資産構成比率 (2026.1末現在)

資産	構成比
国内株式	97.5%
国内株式先物	—
国内合計	97.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■上位5業種構成比 (2026.1末現在)

業種	構成比
1 電気機器	32.2%
2 機械	9.9%
3 非鉄金属	7.0%
4 その他製品	6.6%
5 情報・通信業	6.6%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2026.1末現在)

銘柄名	構成比
1 住友電工	7.0%
2 ソニーグループ	5.7%
3 アドバンテスト	5.6%
4 三菱重工業	4.7%
5 リクルートホールディングス	4.2%
6 キオクシアホールディングス	4.0%
7 キーエンス	3.9%
8 HOYA	3.8%
9 富士通	3.6%
10 三井不動産	3.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 64)

#### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2026.1末現在)

国内株式市場は上昇しました。米半導体株指数の大幅上昇を好感し、堅調に始まりました。その後、日中関係の悪化が懸念される局面もありましたが、衆議院解散の観測報道を受けて、月半ばにかけて株価は大幅に上昇しました。高市首相が衆議院解散を表明すると、与野党が消費税減税を公約に掲げる方針と報じられたことを受けて長期金利が急騰したほか、円高の進行も相まって、株価は上昇幅を縮小しました。

ベンチマークと比較して、業種では、非鉄金属や機械のオーバーウエートなどはプラスに寄与しましたが、銀行業のアンダーウエートやその他製品のオーバーウエートなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、事業環境の改善に対する期待が高まった半導体関連銘柄などはプラスに寄与しましたが、決算発表の内容が株式市場の期待を下回ったITサービス関連銘柄などがマイナス要因となりました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界株式 (A) (2026年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】 2001年11月1日

【資産分類】 外国株式

【運用方針】

日本を除く世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

大和住銀/T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比	円/ドル
2023年 1月31日	379.87	—	130.47
2025年 1月31日	612.33	1.41%	154.43
2月28日	569.48	-7.00%	149.67
3月31日	540.13	-5.15%	149.52
4月30日	514.86	-4.68%	142.57
5月31日	551.59	7.13%	143.87
6月30日	578.40	4.86%	144.81
7月31日	604.41	4.50%	149.39
8月31日	601.03	-0.56%	146.92
9月30日	629.11	4.67%	148.88
10月31日	687.14	9.22%	154.10
11月30日	678.52	-1.26%	156.63
12月31日	689.55	1.63%	156.56
2026年 1月31日	710.77	3.08%	153.66
3ヶ月変化率		3.44%	
6ヶ月変化率		17.60%	
1年変化率		16.08%	
3年変化率		87.11%	

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

### ■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	52	3.0%
有価証券等		
大和住銀/T.ロウ・プライス 外国株式ファンドVA	1,685	97.0%
その他	—	—
資産合計	1,737	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,737	100.0%

## 投資対象となる投資信託について

### 大和住銀/T.ロウ・プライス外国株式ファンドVAの基本情報

【運用会社】 三井住友DSアセットマネジメント

投資顧問: ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク

【運用対象】 日本を除く世界各国の株式

【ベンチマーク】 MSCIコクサイ・インデックス (円換算)

### 運用状況

#### ■地域別内訳 (2026.1末現在)

地域別	ポートフォリオ構成比
西欧	21.8%
東欧	0.0%
中東	0.0%
アフリカ	0.0%
北米	60.0%
中米	3.2%
南米	0.0%
アジア	12.8%
オセアニア	0.0%
その他	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■業種別内訳 (2026.1末現在)

セクター	構成比
エネルギー	2.2%
素材	1.2%
資本財・サービス	8.9%
一般消費財・サービス	8.3%
生活必需品	3.9%
ヘルスケア	6.6%
金融	13.9%
情報技術	44.8%
コミュニケーション・サービス	8.1%
公益事業	0.0%
不動産	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■組入上位10銘柄 (2026.1末現在)

銘柄	国名	業種	構成比
1 NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	4.9%
2 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	4.2%
3 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	3.4%
4 UNILEVER PLC	イギリス	生活必需品	3.1%
5 BROADCOM INC	アメリカ	情報技術	3.0%
6 MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	2.9%
7 APPLE INC	アメリカ	情報技術	2.5%
8 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	2.5%
9 CITIGROUP INC	アメリカ	金融	2.4%
10 SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	情報技術	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

(銘柄数 87)

### 【運用会社による投資信託へのコメント】 (2026.1末現在)

米国経済は景気後退や信用状態悪化の兆候は見られず、依然堅調です。経済活動は2026年の財政刺激策やAI関連の設備投資に支えられると考えますが、一方で財政拡大と継続するAI投資という組み合わせは、インフレ圧力を再燃させ、長期金利(10年国債利回り)を押し上げ、株式全体のバリュエーションを低下させる可能性があります。この環境下ではエネルギー政策がインフレの安全弁として機能することが期待され、これが成功するば現在の景気拡大が延長され、中間選挙のタイミングまでリスク資産の支援材料となる可能性があります。引き続きAIを中核テーマとしつつ、非米国や欧州の割安な優良企業への分散投資を強化し、持続的なリターンの提供を目指します。

当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果、リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界債券 (A) (2026年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等(国債、政府機関債、国際機関債)を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位:百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	5	1.1%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド (為替ヘッジなし)	488	98.9%
その他	—	—
資産合計	493	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	493	100.0%

### ■ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2023年 1月31日	109.44	—
2025年 1月31日	122.44	-2.09%
2月28日	119.93	-2.06%
3月31日	120.58	0.55%
4月30日	118.81	-1.47%
5月31日	119.01	0.16%
6月30日	121.52	2.11%
7月31日	123.04	1.25%
8月31日	122.55	-0.40%
9月30日	124.35	1.47%
10月31日	128.37	3.23%
11月30日	130.38	1.57%
12月31日	130.54	0.12%
2026年 1月31日	129.17	-1.05%
3ヶ月変化率		0.63%
6ヶ月変化率		4.99%
1年変化率		5.50%
3年変化率		18.03%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス(円ベース)

### 運用状況

#### ■国別通貨別構成比率 (2026.1末現在)

	ベンチマーク	債券	通貨	ベンチマーク	債券	通貨
米国	41.2%	48.7%	38.0%	スウェーデン	0.2%	0.3%
カナダ	1.9%	1.9%	1.9%	スイス	—	—
メキシコ	0.9%	3.2%	0.9%	ポーランド	0.7%	1.3%
南アフリカ	—	—	0.0%	ノルウェー	0.2%	0.5%
日本	8.7%	8.7%	10.5%	チェコ	—	0.5%
オーストラリア	1.2%	1.1%	1.1%	ハンガリー	—	0.1%
ニュージーランド	0.3%	—	0.5%	イスラエル	0.4%	—
シンガポール	0.3%	0.6%	0.4%	国際機関	—	0.2%
中国	10.9%	8.8%	10.6%	キャッシュ等		-16.5%
マレーシア	0.5%	0.6%	0.6%	合計	100.0%	100.0%
韓国	—	1.1%	1.1%			
インドネシア	—	0.1%	0.4%			
ユーロ	27.2%	31.9%	27.3%			
英国	5.4%	6.8%	5.3%			
デンマーク	0.2%	0.3%	0.2%			

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2026年2月の構成比率  
 ※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物(先物の売建てはマイナス表示)を含みます  
 ※通貨は実質為替組入比率  
 ※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

#### ■組入上位10銘柄 (2026.1末現在)

	国名	種別	利率	償還年月日	構成比
1	アメリカ	国債	3.500	2030/11/30	5.3%
2	アメリカ	国債	3.500	2027/9/30	3.1%
3	日本	国債	0.100	2031/9/20	2.7%
4	フランス	国債	2.750	2029/2/25	2.6%
5	アメリカ	国債	4.000	2035/11/15	2.6%
6	アメリカ	国債	3.625	2030/9/30	2.5%
7	日本	国債	0.600	2033/12/20	1.8%
8	スペイン	国債	1.400	2028/4/30	1.3%
9	アメリカ	国債	4.125	2027/10/31	1.3%
10	韓国	国債	2.500	2030/9/10	1.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合(銘柄数 227)

修正デュレーション=平均6.92年(ベンチマーク=同6.54年)

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
 ・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
 ・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
 ・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
 ・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
 ・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 世界バランス (A) (2026年1月末現在)

## 特別勘定について

### 基本情報

- 【特別勘定の設定日】 2001年11月1日
- 【資産分類】 バランス
- 【運用方針】  
日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品に分散投資を行います。原則として為替ヘッジは行いません。
- 【投資対象となる投資信託】  
フィデリティ・バランス・ファンドVA2

### 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	14	3.1%
有価証券等		
フィデリティ・バランス・ファンドVA2	450	96.9%
その他	—	—
資産合計	465	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	465	100.0%

### ■ ユニットプライスの推移



(円/ドルの為替レートは、6ページに掲載しています)

	ユニットプライス	前月比
2023年 1月31日	153.01	—
2025年 1月31日	194.20	-1.51%
2月28日	187.11	-3.65%
3月31日	186.77	-0.18%
4月30日	180.85	-3.17%
5月31日	186.52	3.14%
6月30日	190.84	2.31%
7月31日	195.03	2.19%
8月31日	197.01	1.02%
9月30日	199.72	1.37%
10月31日	207.39	3.84%
11月30日	209.43	0.98%
12月31日	211.03	0.77%
2026年 1月31日	210.20	-0.39%
3ヶ月変化率		1.36%
6ヶ月変化率		7.78%
1年変化率		8.24%
3年変化率		37.38%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。  
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## 投資対象となる投資信託について

### フィデリティ・バランス・ファンドVA2の基本情報

- 【運用会社】 フィデリティ投信
- 【運用対象】 日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品
- 【ベンチマーク】 複合インデックス (円ベース)
  - TOPIX (配当金込) (25%)
  - MSCIワールド・インデックス (除く日本/税引前配当金込) (25%)
  - ブルームバーグ・グローバル総合インデックス (為替ヘッジなし、円ベース) (50%)

### 運用状況

#### ■ 株式 (2025.12末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド(適格機関投資家専用)	24.4%
フィデリティ・ファンズ・アメリカン・グロース・ファンド	20.6%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	3.8%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・スモール・カンパニーズ・ファンド	1.0%
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	0.9%
フィデリティ・ファンズ・アジア株式・ESGファンド	0.3%
合計	51.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■ 債券・短期金融資産等 (2025.12末現在)

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・インスティテュショナル・グローバル・ボンド・ファンド(除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家転売制限付き)	45.2%
iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	1.9%
合計	47.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■ 組入上位5ヶ国・地域 (2025.12末現在)

国名	構成比
1 アメリカ	43.7%
2 日本	26.1%
3 ドイツ	8.3%
4 イギリス	5.1%
5 中国	2.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

#### ■ 組入上位5通貨 (2025.12末現在)

通貨	構成比
1 アメリカドル	48.1%
2 日本円	26.1%
3 ユーロ	11.3%
4 イギリス・ポンド	4.3%
5 中国・元	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報と東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容については東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# マネー (A) (2026年1月末現在)

## ● 特別勘定について

### 基本情報

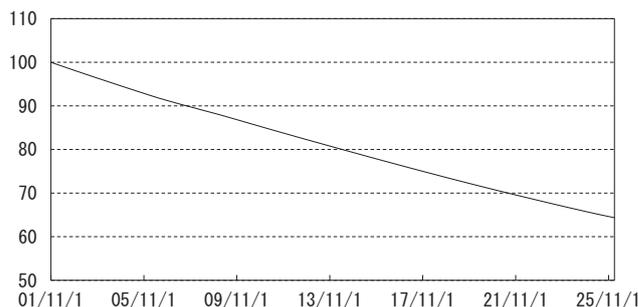
【特別勘定の設定日】 2001年11月1日  
【資産分類】 短期金融商品  
【運用方針】  
円建ての短期金融商品を中心に投資します。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。  
【投資対象となる投資信託】  
マネー・オープン 他

### ■ 特別勘定 純資産総額の内訳

(単位: 百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	116	34.1%
有価証券等		
マネー・オープン	224	65.9%
その他	—	—
資産合計	340	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	340	100.0%

### ■ ユニットプライスの推移



	ユニットプライス	前月比
2023年 1月31日	67.96	—
2025年 1月31日	65.49	-0.16%
2月28日	65.39	-0.14%
3月31日	65.29	-0.16%
4月30日	65.20	-0.14%
5月31日	65.10	-0.15%
6月30日	65.01	-0.15%
7月31日	64.91	-0.15%
8月31日	64.82	-0.14%
9月30日	64.72	-0.15%
10月31日	64.63	-0.14%
11月30日	64.54	-0.14%
12月31日	64.45	-0.14%
2026年 1月31日	64.35	-0.15%
3ヶ月変化率		-0.43%
6ヶ月変化率		-0.86%
1年変化率		-1.74%
3年変化率		-5.31%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

## ● 投資対象となる投資信託について

### マネー・オープン 他の基本情報

【運用会社】 大和アセットマネジメント  
【運用対象】 円建て短期金融商品  
【ベンチマーク】 特に定めない

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。  
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。  
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。  
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があります。  
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。  
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

## ご負担いただく費用について

### ■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項目	費用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.85%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

### ■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項目	適用	費用
積立金移転費用	1保険年度12回を超える積立金の移転の際	1保険年度に12回までの移転…無料 1保険年度に12回を超える移転…1回につき1,000円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率1.85%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して7%～1%(経過年数に応じて)

### ■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

#### ●保証期間付終身年金、確定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して1.0%以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

#### ●特別勘定年金の場合

項目	適用	費用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

### ■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」、「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

\*資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

## ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】

# 大和証券

Daiwa Securities

【引受保険会社】

## 東京海上日動あんしん生命保険株式会社

ホームページ <https://www.tmn-anshin.co.jp/>

ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ

 **0120-155-730**

受付時間 平日9:00～17:00  
(土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)